

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-232893

(43)Date of publication of application : 02.09.1998

(51)Int.CI. G06F 17/60
 G06F 13/00
 G06F 17/30

(21)Application number : 09-033969

(22)Date of filing : 18.02.1997

(71)Applicant : RIKURUUTO:KK

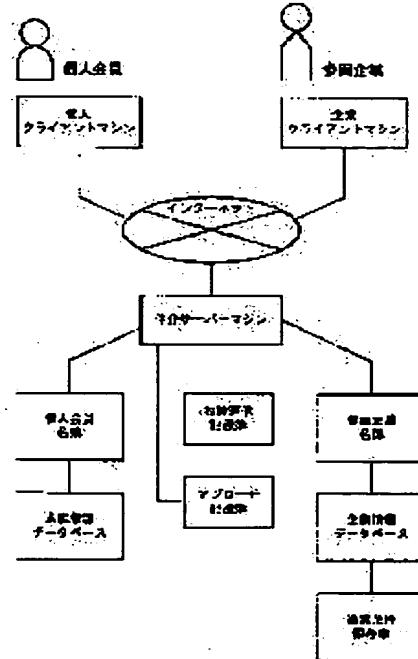
(72)Inventor : MIMAKI YOSHIAKI
 MIZUTANI TOMOYUKI
 OGASAWARA YOSHINORI
 SHOMURA YOSHINORI
 MIURA KENTARO
 KUMAZAWA KOHEI
 KUZUSHIMA TOSHIHIKO

(54) INFORMATION EXCHANGE MEDICATION SYSTEM TO BE FUNCTIONED AS WWW SERVER ON INTERNET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To finally cancel anonymity and to lead the direct negotiation between a user and a company by mutually deepening concerns based on the history of anonymous latent job change desiring person and the job offer contents of the company.

SOLUTION: The latent job change desiring person registers his own history in a data base as an anonymous member and the job offering company registers the job offer contents in the data system as a public member. The anonymous member and the public member can mutually retrieve and read the contents in the data base. However, the name, address and phone number to contact of anonymous member are hidden at the time of retrieval and read for the public member. Therefore, the latent job change desiring person easily utilizes this system and the job offering company investigates much more talent information as well. When the side of job offering company retrieves the history of job change desiring person and finds out attractive talent, comment information specifying his anonymous member ID is added and returned to a mediation device. While receiving this information, the mediation device transmits electronic mail to the anonymous member based on the member ID.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.01.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 06.04.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 11-07333

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 06.05.1999

[Date of extinction of right]

Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-232893

(43)公開日 平成10年(1998)9月2日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 17/60
13/00
17/30

識別記号
3 5 7

F I
G 0 6 F 15/21
13/00
15/40
Z
3 5 7 Z
3 1 0 F
3 2 0 Z
3 7 0 Z

審査請求 有 請求項の数4 OL (全16頁)

(21)出願番号 特願平9-33969

(22)出願日 平成9年(1997)2月18日

(71)出願人 000139012

株式会社リクルート
東京都中央区銀座8丁目4番17号

(72)発明者 三牧 義明

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ
クルート内

(72)発明者 水谷 智之

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ
クルート内

(72)発明者 小笠原 義典

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ
クルート内

(74)代理人 弁理士 一色 健輔 (外2名)

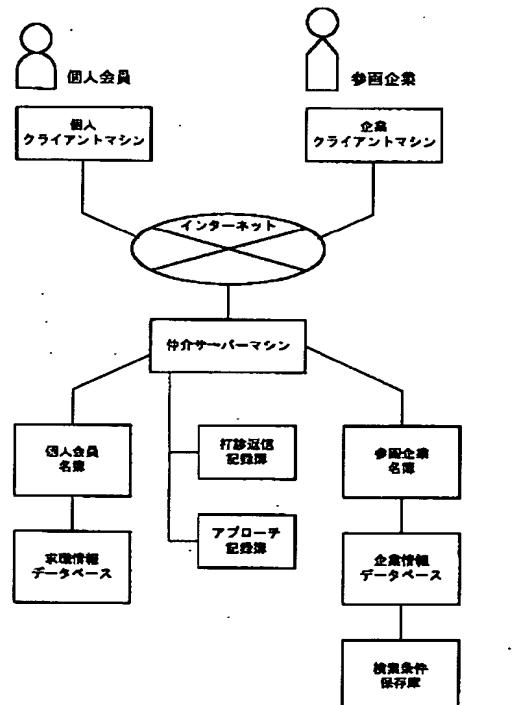
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 インターネット上にてWWWサーバーとして機能する情報交換仲介装置

(57)【要約】

【課題】 インターネット上にてWWWサーバーとして機能する情報交換仲介装置であって、たとえば求職者と求人企業との間をとりもって相互の有意義な情報交換に役立たせる。

【解決手段】 公開会員が発信した公開タイプの自己説明情報のデータベースは匿名会員クライアントによる検索閲覧に供する。匿名会員が発信した匿名タイプの自己説明情報のデータベースについては、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる情報を除いた匿名情報を、公開会員クライアントによる検索閲覧に供する。匿名情報を公開会員クライアントに送達するときにコメント情報を記入するための画面情報を添付する。公開会員クライアントにて記入されて返送されてきたコメント情報を受領してデータベースに蓄積するとともに、該当の匿名会員宛にそのことを伝える電子メールを送達する。電子メールで連絡を受けた匿名会員は該当のコメント情報を閲覧できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット上にてWWWサーバーとして機能する情報交換仲介装置であって、つぎの要件(1)～(6)を備える。

(1) 情報交換仲介サービスの対象者として登録された匿名会員および公開会員にそれぞれ会員IDを発行し、各会員の名前・住所・連絡先と会員IDとを会員名簿として管理する。

(2) アクセスしてきたクライアントに対して希望に応じて自己説明情報を記入するための画面情報を送達し、クライアントにて記入されて返送されてきた自己説明情報を受領してデータベースに蓄積する。

(3) 公開会員が発信した公開タイプの自己説明情報のデータベースを匿名会員クライアントによる検索閲覧に供する。

(4) 匿名会員が発信した匿名タイプの自己説明情報のデータベースについては、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる情報を除いた匿名情報を公開会員クライアントによる検索閲覧に供する。前記匿名情報を公開会員クライアントに送達するときに、前記匿名情報に対するコメント情報を記入するための画面情報を添付する。

(5) 公開会員クライアントにて記入されて返送されてきた前記匿名情報に対するコメント情報を受領してデータベースに蓄積するとともに、当該匿名情報の発信者である匿名会員宛に前記コメント情報が送られてきた旨を伝える電子メールを発送する。

(6) 公開会員クライアントから返信されてきた前記コメント情報のデータベースについては、各コメント情報の源泉である特定の匿名会員からのアクセスに対してのみ該当のコメント情報を閲覧可能とする。

【請求項2】 請求項1において、匿名会員が自分の自己説明情報を閲覧させてほしくない相手として特定の公開会員を指名する入力を受け付ける手段と、その指名入力により閲覧拒否された公開会員に対しては閲覧拒否を発した匿名会員の自己説明情報の検索閲覧を不能にする手段とを備えたことを特徴とする情報交換仲介装置。

【請求項3】 請求項1または2において、匿名会員が自分の自己説明情報を見てほしい相手として特定の公開会員を指名する入力を受け付ける手段と、その指名入力を受領したときに指名された公開会員宛にその旨を伝える電子メールを発送する手段とを備えたことを特徴とする情報交換仲介装置。

【請求項4】 請求項3において、公開会員に対して前記指名をしてきた匿名会員のリストを公開会員ごとに作成し、その指名リストを該当の公開会員クライアントによる閲覧に供する手段と、前記指名リストに掲載してから一定期間を経過しても該当の公開会員からの前記コメント情報が返信されなかった匿名会員については前記指名リストから削除する手段とを備えたことを特徴とする

情報交換仲介装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、インターネット上にてWWWサーバーとして機能する情報交換仲介装置に関し、たとえば求職者と求人企業との間をとりもって相互の有意義な情報交換に役立たせる情報処理技術に関する。

【0002】

10 【従来の技術】 インターネットを活用したさまざまな情報提供サービスが一般社会に急速に浸透してきた。WWW(World Wide Web)と呼ばれている技術が開発されたことにより、インターネット上の情報検索が直感的でグラフィカルなユーザー・インターフェースで行えるようになり、インターネット環境が激変した。インターネット上にてWWWの仕組みで情報を提供するコンピュータをWWWサーバーと呼び、WWWサーバーが提供する情報を検索閲覧するためにクライアント・コンピュータが備えるべきソフトウェアのことをWWWブラウザと呼んでいる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 データベースにまつわる成熟した情報処理技術とインターネットWWWの仕組みが融合することで、社会的にきわめて意義深いさまざまな情報提供サービスが生みだされている。その応用分野は多岐にわたるが、たとえばその1つに企業から個人に向けた求人情報サービスとか、個人から企業に向けた求職情報のデータベース化などがある。具体的に説明する。個人の求職情報をWWWサーバーのデータベースに蓄積して求人企業の担当者がクライアント・コンピュータから検索閲覧できるようにし、また、企業の求人情報をWWWサーバーに蓄積して求職や転職を希望している個人がクライアント・コンピュータから検索閲覧できるようにする。これは技術的になんら困難はなく、これに類するシステムはインターネット上にすでに運用されているであろう。

【0004】 このような就職情報サービスについて、本発明者らはつぎのような課題があることを考察し、より有意義な情報サービスのあり方について研究した。ま40ず、転職希望の明確な意志を固めていない潜在的な転職希望者が多いことを考察した。自分のキャリアプランに興味はあるものの、履歴書や職務経歴書を書いて求人企業に送ったり、直接電話で問い合わせをするといった具体的な行動に移せない人達である。これを潜在転職希望者と呼ぶ。これらの人達にとって、匿名のままで自分の経歴を企業の人事担当者に評価してもらえば有意義であろう。そのような機会があるということは、求人企業にとってはより多くの人材について経歴を調査できることになり、これも有意義なことであろう。そして匿名の潜在転職希望者の経歴および企業の求人内容に基づいて、

互いの関心が深化するならば、匿名のまま新たな情報を交換したりし、最終的には匿名を解消して両者の直接交渉につなげる。前述のように、身元を明した個人や企業と匿名の人との間のオープンな情報交換を仲介することで、社会的に有意義な価値を生みだせる分野は他にもいろいろとあるであろう。この発明の目的は、前記のような情報交換仲介サービスをWWWサーバーとしてインターネット上で効果的に実現することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明の情報交換仲介装置は、インターネット上でWWWサーバーとして機能するもので、つぎの要件(1)~(6)を備えるものである。

【0006】(1)情報交換仲介サービスの対象者として登録された匿名会員および公開会員にそれぞれ会員IDを発行し、各会員の名前・住所・連絡先と会員IDとを会員名簿として管理する。

【0007】(2)アクセスしてきたクライアントに対して希望に応じて自己説明情報を記入するための画面情報を送達し、クライアントにて記入されて返送されてきた自己説明情報を受領してデータベースに蓄積する。

【0008】(3)公開会員が発信した公開タイプの自己説明情報のデータベースを匿名会員クライアントによる検索閲覧に供する。

【0009】(4)匿名会員が発信した匿名タイプの自己説明情報のデータベースについては、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる情報を除いた匿名情報を公開会員クライアントによる検索閲覧に供する。前記匿名情報を公開会員クライアントに送達するときに、前記匿名情報に対するコメント情報を記入するための画面情報を添付する。

【0010】(5)公開会員クライアントにて記入されて返送されてきた前記匿名情報に対するコメント情報を受領してデータベースに蓄積するとともに、当該匿名情報の発信者である匿名会員宛に前記コメント情報が送られてきた旨を伝える電子メールを発送する。

【0011】(6)公開会員クライアントから返信されてきた前記コメント情報のデータベースについては、各コメント情報の源泉である特定の匿名会員からのアクセスに対してのみ該当のコメント情報を閲覧可能とする。

【0012】以上の要件(1)~(6)に加えて、請求項2の発明では、匿名会員が自分の自己説明情報を閲覧させてほしくない相手として特定の公開会員を指名する入力を受け付ける手段と、その指名入力により閲覧拒否された公開会員に対しては閲覧拒否を発した匿名会員の自己説明情報の検索閲覧を不能にする手段とを備える。

【0013】また請求項3の発明では、匿名会員が自分の自己説明情報を見てほしい相手として特定の公開会員を指名する入力を受け付ける手段と、その指名入力を受領したときに指名された公開会員宛にその旨を伝える電

子メールを送発送する手段とを備える。さらに請求項4の発明では、公開会員に対して前記指名をしてきた匿名会員のリストを公開会員ごとに作成し、その指名リストを該当の公開会員クライアントによる閲覧に供する手段と、前記指名リストに掲載してから一定期間を経過しても該当の公開会員からの前記コメント情報が返信されなかった匿名会員については前記指名リストから削除する手段とを備える。

【0014】

【発明の実施の形態】

====基本的なシステム構成と用語の説明====
この発明の情報交換仲介装置を中心としたシステム構成を図1に示している。この図とともに以下の実施例で使用する用語について説明する。

【個人会員】…前述の匿名会員に相当し、匿名で自分の職務経験や資格などの求職情報をデータベースに登録する個人である。個人IDとパスワードとが割り当てられる。

【参画企業】…前述の公開会員に相当し、自社の募集職種や採用条件などの求人情報をデータベースに登録する。企業IDとパスワードとが割り当てられる。

【個人クライアントマシン】…個人会員が操作するコンピュータのことであり、インターネットに接続される。単にクライアントとも言う。

【企業クライアントマシン】…参画企業の担当者が操作するコンピュータのことであり、インターネットに接続される。単にクライアントとも言う。

【仲介サーバーマシン】…この発明の情報交換仲介装置としてのコンピュータであり、インターネットに接続される。単にサーバーとも言う。

【0015】[打診]…個人会員がある参画企業を指名して自分の求職情報を見てほしいと意思表示すること。

【返信】…打診された参画企業(打診対象企業)が打診してきた個人会員(打診者)の求職情報を見てコメントを付けること。

【アプローチ】…打診されていない参画企業が公開されている求職情報を閲覧し、ある個人会員を指名して関心があると意思表示すること。

【0016】個人クライアントマシンあるいは企業クライアントマシンからの要求に応じ、仲介サーバーマシンにてHTMLタイプの画面情報が生成され、インターネットのWWWの仕組みで要求クライアントマシンに送達される。クライアントマシン側でその画面情報に所要の情報を記入して仲介サーバーマシンに返送することができる。仲介サーバーマシンはWWWサーバーとしてだけでなく、電子メールサーバーとしても機能し、必要に応じて個人会員宛および参画企業宛に電子メールを発送する。

【0017】====データベースの概要====

50 仲介サーバーマシンには、つぎのように複数の系統に分

れて階層構造をなすデータベースが構築される。

【個人会員名簿】…個人会員のID・パスワード・名前・住所・現職・電話番号・電子メールアドレスなどの一覧表であり、これにデータ有効期限や最新閲覧日などの管理データを付帯させている。

【求職情報データベース】…個人会員のIDをキーとして各個人の職務経験・資格・語学・各技術分野スキルを関係データベースとして集約したものである。

【0018】【参画企業名簿】…参画企業のID・パスワード・企業概要・連絡先・電子メールアドレスなどの一覧表であり、これにデータ有効期限や最新閲覧日などの管理データを付帯させている。

【企業情報データベース】…参画企業のIDをキーとして各社の募集職種や採用条件などの求人情報を関係データベースとして集約したものである。

【検索条件保存庫】…参画企業が個人情報データベースを検索したときに設定した検索条件式を参画企業IDをキーとして保存しておく。

【0019】【打診返信記録簿】…個人会員が参画企業を打診したときに、打診者のIDと打診対象企業IDと打診日とをセットにして記録する。その打診に対して企業が返信したときに、前記のデータセットに返信日と返信内容が追加記録される。

【アプローチ記録簿】…参画企業がある個人会員にアプローチしたとき、アプローチ企業IDとアプローチ対象個人IDとアプローチ日をセットにして記録する。

【0020】==個人会員および参画企業の初期登録==

この発明の情報仲介装置が提供しているサービスに加入したいと希望する個人は、まず、個人クライアントマシンをインターネットに接続して仲介サーバーマシンのURLを送出する。両者が接続されると、仲介サーバーマシンから個人クライアントマシンに図2に示すホームページ（表紙画面）が送達される。このページには基本となる3つの選択肢「①FIRST TIME」「②YOUR PAGE」「③COPANYDATA」がある。項目①をクリックすると、サーバーからクライアントに個人会員の初期登録用の画面情報が送られてくる。初期登録画面も多数のページで全体構成されており、システムの仕組みを説明する案内画面から始り、多岐にわたる個人情報を内容別に分けて入力するための登録画面がつぎつぎと出てくる。

【0021】登録画面に入力すべき内容はつぎのようなものである。名前・住所・現職・電話番号・電子メールアドレスなどの個人を特定する名簿情報と、職務経験・資格・語学・各技術分野スキルなどの求職に直接的に関連した求職情報とに大別される。個人会員が入力した情報内容を整理して最終確認をとる画面を図3と図4に示している。

【0022】クライアント側において登録画面に所要事項を記入してエントリー操作をすると、情報記入後の画

面情報がサーバー側に返送される。サーバー側では、返送されてきた画面情報からクライアントによる記入事項を抽出し、それぞれの情報をデータベース（個人会員名簿と求職情報データベース）に登録する。このとき登録を受け付けた個人会員にIDとパスワードとを発行し、それをID・パスワード通知画面でクライアントに知らせる。

【0023】一方、本装置のシステムに参画しようとする企業は、このシステムを運営している事業者に申し込みをする。この段階ではオフライン処理であり、所定の申込用紙に所要事項を記入し、事業者側の担当者のチェックを受けて、正式に契約する。このときに取得した参画企業の細かな情報を係員が所定の端末コンピュータを操作して仲介サーバーマシンに入力し、参画企業名簿と企業情報データベースに分けて登録する。また、参画企業に対してIDとパスワードとを発行する。なお、この発明はこのようなオフライン処理を介在させるものに限定されるわけではなく。つぎのようにも実施可能である。

【0024】個人会員の初期登録と同じ仕組みで、本装置のシステムに参画しようとする企業は、仲介サーバーマシンにアクセスして参画企業用ホームページを取り寄せて、登録画面に所要の事項を記入してサーバーに返送する。仲介サーバーマシンは、参画企業に対してIDとパスワードを発行するとともに、参画企業から送られてきた情報は参画企業名簿と企業情報データベースに分けて登録する。

【0025】==参画企業による求職情報データベースの検索閲覧==

企業クライアントマシンから仲介サーバーマシンにアクセスし（もちろんIDとパスワードによる認証手続きが必要である）、個人会員が登録した求職情報データベースの内容を企業の求人担当者が適宜に検索して閲覧できる。このときの閲覧対象は個人の求職情報データベースであり、個人会員名簿に掲載されている名前・住所・現職・電話番号・電子メールアドレスは見ることはできない。個人会員を区別するのはIDである。

【0026】検索を行うにはサーバーにアクセスして参画企業別に用意されているホームページ（図5）を取り寄せて、そこから検索条件の設定画面を引きだしていく。自社専用ページの画面には基本となる3つの選択肢「①OFFERS」「②SEARCH」「③FOLLOW UP」がある。項目②をクリックすると検索条件の設定画面を引き出せる。その画面において、職務経験・資格・語学・各技術分野スキルなどの多岐にわたる属性を使って希望の人を探すための検索条件式を画面に記入してサーバーに返送する。サーバーはその検索条件式に従って求職情報データベースから該当する個人情報を引きだし、それらを規定の閲覧画面にはめ込んでクライアントに送達する。閲覧出力は、概略情報表示（図6）と詳細情報表示（図

7) の2階層で行う。

【0027】企業クライアントマシンと仲介サーバーマシンとのやり取りにおいて、クライアントが希望すれば、個人情報データベースを検索したときの検索条件式をサーバーの検索条件保存庫に保存してもらえる。保存庫には企業IDをキーとして検索条件式を保存しておき、ある企業クライアントマシンから個人情報データベースの検索要求があったときに、この保存庫に該当企業IDの検索条件式が保存されているか否かをチェックし、保存されていれば、その検索条件式を記述した検索条件設定画面をクライアントに送達する。これを受けたクライアントでは、保存してあった条件と同じ条件で検索するのであれば、それを再び入力する手間を省ける。

【0028】====参画企業から個人会員へのアプローチ====

参画企業は、求職情報データベースを検索閲覧した結果、興味ある人材を見出した場合、その閲覧画面中にアプローチ希望のマークを記入することで、その意思を仲介してもらえる。つまり、仲介サーバーマシンは、企業クライアントマシンからアプローチ希望マークの付いた閲覧画面が返送されてきたのを受けて、その企業IDとマークの付けられた個人会員のIDと当日の日付（アプローチ日）とをセットにしてアプローチ記録簿に記録する。また仲介サーバーマシンは、たとえば1週間に一度の周期で定期的にアプローチ記録簿をサーチし、アプローチ日に基づいてその週に生じたアプローチ件をピックアップし、アプローチされた個人会員に対して電子メールを送り、参画企業からアプローチがあったことを伝える。なお言うまでもないが、仲介サーバーマシンは、アプローチ記録簿のアプローチ対象個人IDに従って個人会員名簿をサーチすることで、その個人会員の電子メールアドレスを知る。またアプローチした企業IDに従って参画企業名簿をサーチすれば、その企業の名称が分る。なお、アプローチ日から3週間を経過したアプローチ件の記録はアプローチ記録簿から抹消している。

【0029】====個人会員による企業情報の閲覧と打診====

個人クライアントマシンにて、たとえば図2の個人会員向けホームページを閲覧していて「②YOUR PAGE」をクリックすると、図8に示すその個人専用のホームページがサーバーから送られてくる。この個人ページには基本的な3つの選択肢「①MESSAGE」「②COMPANY」「③PERSONAL DATA」がある。この画面で項目「②COMPANY」をクリックすると、仲介サーバーマシンの参画企業名簿の内容と企業情報データベースの内容を組み合わせた参画企業一覧画面（図9）がクライアントマシンに送られてくる。この参画企業一覧を見て個人会員は、自分の登録情報を見てほしい相手企業を指名することができる（これが打診である）。一覧画面中の希望の企業の欄に打診マークを記入する。打診マークを記入した画面情報

がクライアントからサーバーに返送されると、サーバーマシンでは、打診した個人会員のIDと打診された参画企業のIDと当日の日付をセットにして打診返信記録簿に記録する。

【0030】また仲介サーバーマシンでは、たとえば1週間に一度の周期で定期的に打診返信記録簿をサーチし、打診日に基づいてその週に生じた打診件をピックアップし、打診された企業に対して電子メールを送り、個人会員からの打診があった旨を伝える。なおこの方法に限定されず、新しい打診件が発生するごとに該当企業に電子メールを送る方法を採用した方がより望ましい。

【0031】====打診された企業による返信====電子メールにより打診があったことを知らされた参画企業の担当者は、仲介サーバーマシンにアクセスし、自社専用ページ（図5）を取り寄せる。この画面には基本となる3つの選択肢「①OFFERS」「②SEARCH」「③FOLLOW UP」がある。項目①を選択すると、自社を打診している個人会員の一覧画面がサーバーから送られてくる。つまりサーバーは、打診返信記録簿から特定の企業IDの記録を選び出し、それら打診記録中の打診者IDの情報を個人データベースから拾い出して、図10のような打診者一覧画面を作成して企業クライアントマシンに送る。

【0032】この打診者一覧画面を見て、そこに掲載されている個人の詳しい情報を取り寄せて見ることができる。企業の担当者が打診者の登録情報を検討して、その関心度合いに応じた返信を打診者一覧画面に記入する。この実施例では、返信はA、B、Cの3種類に決められており、それぞれの意味内容はつぎの通りである。

- 30 (A) 非常に興味がある。ぜひ会ってみたい。
- (B) 興味がある。場合によっては会ってみたい。
- (C) 興味なし。打診者に返信は送らない。

企業の担当者が打診者一覧画面中の返信欄にA、B、Cのいずれかを記入し（記入しなければC扱い）、その記入済み画面を仲介サーバーマシンに返送する。

【0033】仲介サーバーマシンでは、返信欄に記入されてクライアントから返送されてきた打診者一覧画面を受けて、打診返信記録簿における打診者ID・打診対象企業ID・打診日のセットに返信日と返信内容（A、B、C）を追記する。そして、たとえば1週間に一度の周期で定期的に打診返信記録簿をサーチし、返信日に基づいてその週に生じた返信件でしかも返信内容がAまたはBの件をピックアップし、AまたはBの返信を受けた打診者に対して電子メールを送り、「貴方が打診した企業から返信が来ました」という通知をする。なお言うまでもないが、ここまで打診者（個人会員）と参画企業とのやり取りは個人IDに基づいてなされており、個人の名前・住所・連絡先をふせた匿名で行われている。また、打診返信記録簿のデータのうち、打診日から3週間

40 を経過したものは順次抹消していく。

【0034】====アプローチや返信の通知を受けた個人会員====

個人会員に対して不特定の企業からアプローチがあったり、個人が打診した企業から返信があると、前述のようにその個人会員に電子メールが送られて、そのことが通知される。この通知を受けた個人会員は、仲介サーバーマシンにアクセスし、まず図2のホームページを取り寄せて、その中から項目「②YOUR PAGE」をクリックすると、サーバーから図8に示す個人ページの画面が送られてくる。この個人ページには基本的な3つの選択肢「①MESSAGE」「②COMPANY」「③PERSONAL DATA」がある。①には打診に対する返信メッセージについての項目「気になる会社からのメッセージ」と、不特定企業からのアプローチメッセージについての項目「こんな会社からもメッセージが」とある。

【0035】個人ページにおける①の2つの項目のいずれかがクリックされると、サーバーは打診返信記録簿（またはアプローチ記録簿）の内容に基づいて、返信（またはアプローチ）をしてきた企業の概要と連絡先、それに返信内容を編集したメッセージ報告画面を作成してクライアントに送る。前述のように返信はA、B、Cのいずれかの符号であり、打診者に返信を知らせるのはAまたはBが企業によって記入された場合である。この場合に「貴方のスキルや経験は弊社が求めている人材像にとても近いので、ぜひお会いしてみたいと思っています。ご連絡をお待ちしています。」といった既定のメッセージに変換して打診者に伝える。企業側からのアプローチの場合も同様な既定のメッセージに変換してアプローチ対象者に伝える。

【0036】====個人会員が処理できるその他の機能====

図8の個人ページにおける項目「②COMPANY」をクリックすると、前述したように参画企業の一覧画面がサーバーから送られてくる。その画面で打診したい企業にマークを付けることは既に説明した。また図8の個人ページにおける項目「③PERSONAL DATA」をクリックすると、初期登録として詳しく説明した個人情報について、修正や追加を行うための画面がサーバーから送られてくる。その画面でいつでも自分の登録情報に手を加えることができる。これに加えて、求職情報データベースに登録されている自分の情報を見られたくない企業を指定することができる。つまり、特定の企業に対しては自分の情報の閲覧を拒否することができる。この閲覧拒否の指定を受けた企業IDが拒否した個人IDに対応づけして求職情報データベースに格納される。サーバーが企業からの希望に応じて求職情報データベースの閲覧処理を行うときに、この閲覧拒否情報を参照することで個人の意向に合せる。

【0037】

【発明の効果】WWWサーバーのデータベースに蓄積さ

れた個人の求職情報を求人企業の担当者がクライアントマシンから検索閲覧でき、またWWWサーバーに蓄積された企業の求人情報を求職や転職を希望している個人がクライアントマシンから検索閲覧できる。このような単純な情報サービスを行うシステムに対し、この発明の情報交換仲介装置は明確に一線を画している。

【0038】この発明の装置によれば、潜在転職希望者は匿名会員として自分の経歴をデータベースに登録し、求人企業は公開会員として求人内容をデータベースに登録する。匿名会員と公開会員は相互にデータベースの内容を検索閲覧できる。ただし、匿名会員の名前・住所・連絡先は当該仲介装置の会員名簿として管理されているが、公開会員に対する検索閲覧時には隠される。そのため潜在転職希望者は気軽にこのシステムを利用でき、し、求人企業もより多くの人材情報を調べることができる。

【0039】またこの発明においては、求人企業側は、転職希望者の経歴を検索してこれはと思う人材を見つければ、その匿名会員IDを特定したコメント情報を付けて当該仲介装置に返信する。これを受けた当該仲介装置は、会員IDに基づいて該当の匿名会員宛に電子メールを送達する。これで企業の意志が匿名の潜在転職希望者に伝わる。

【0040】また潜在転職希望者の側は、自分が興味を持っている企業を指定できる。この指定が当該仲介装置により該当の企業に電子メールとして伝えられる。したがって、企業側は興味を寄せている人材に的を絞って効率よく検討できる。もちろん、企業側の検討結果がコメント情報として当該仲介装置を経由して転職希望者（匿名会員）に間接的に伝わる。さらに、指名リストに掲載された情報でも企業側が関心を示さずに一定期間をすぎると該当の情報が削除されるので、情報が整理されて見やすい。

【0041】このように本発明の仲介装置によれば、匿名の潜在転職希望者の経歴および企業の求人内容に基づいて、互いの関心が深化するならば、匿名のままで新たな情報を交換したりし、最終的には匿名を解消して両者の直接交渉につなげることがスムーズにできる。なお、このように身元を明した個人や企業と匿名の人との間のオープンな情報交換を仲介することで、社会的に有意義な価値を生みだせる分野は他にもいろいろと考えられ、本発明の仲介装置はさまざまな分野に適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例による情報交換仲介装置の概略構成とシステム構成を示す図である。

【図2】同上実施例における個人会員の初期登録用の画面を示す図である。

【図3】同上実施例における個人情報および求職情報の登録確認画面を示す図その1である。

【図4】同上実施例における個人情報および求職情報の

11

登録確認画面を示す図その2である。

【図5】同上実施例における参画企業ごとの自社専用ページを示す図である。

【図6】同上実施例における求職情報の閲覧出力の概略モード画面を示す図である。

【図7】同上実施例における求職情報の閲覧出力の詳細モード画面を示す図である。

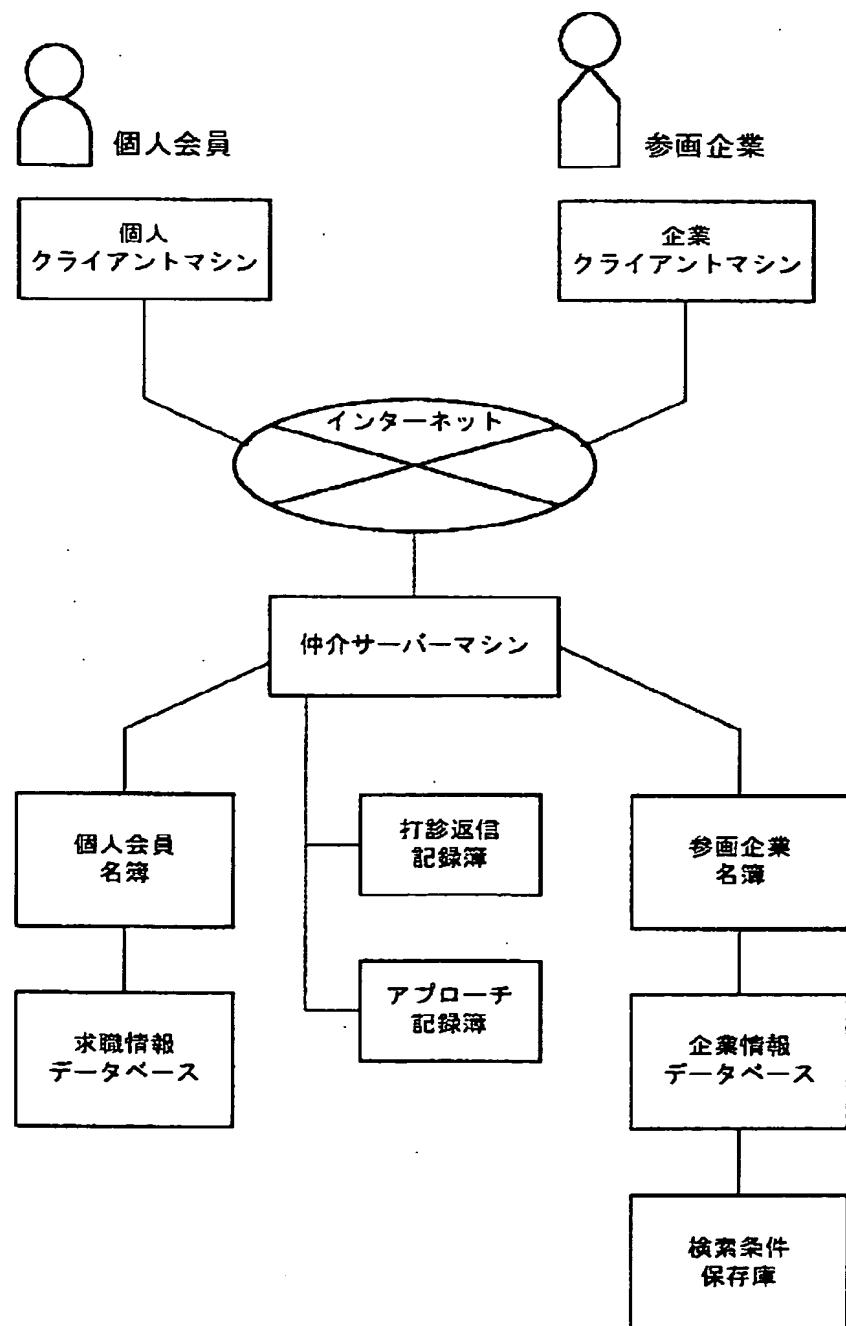
12

【図8】同上実施例における個人会員ごとに専用の個人ページを示す図である。

【図9】同上実施例における参画企業の一覧表示画面を示す図である。

【図10】同上実施例における打診者一覧表示画面を示す図である。

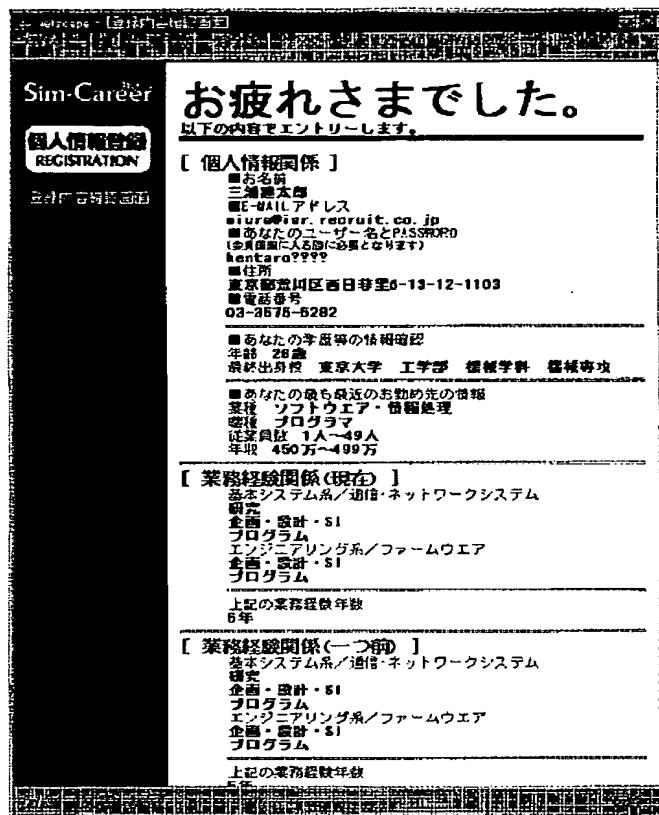
【図1】



【图2】



【図3】



【図4】

Sim-Career

個人情報登録
REGISTRATION

西六回：最終画面

【業務経験関係（二つ前）】

会社システム系／通販・ネットワークシステム
研究
企画・設計・SI
プログラム
エンジニアリング系／ファームウェア
企画・設計・SI
プログラム
上記の業務経験年数
5年

【資格・語学関係】

■资格取得の情報
第1種電気工事士
工業電気装置技術者
システム電気装置技術者
■語学実績の情報
TOEIC／880点
英語会話（文部レベル）
中国語
フィリピン語

【スキル関係】

■コンピュータ関係のスキル
■汎用OS
MVS/SP/XA/ESA(IBM) 5年
DEC ACOS 2年
■プログラム言語
DEC 1年
オムロン/Data General 1年
HP 4年
IBM AS/400 1年
IBM RS6000 1年
■専用DBMS
Oracle
Sybase
ADABAS

【匿名での情報公開先企業指定】

現在以下の企業の並びで全ての企業に公開しています。
マイクロソフト

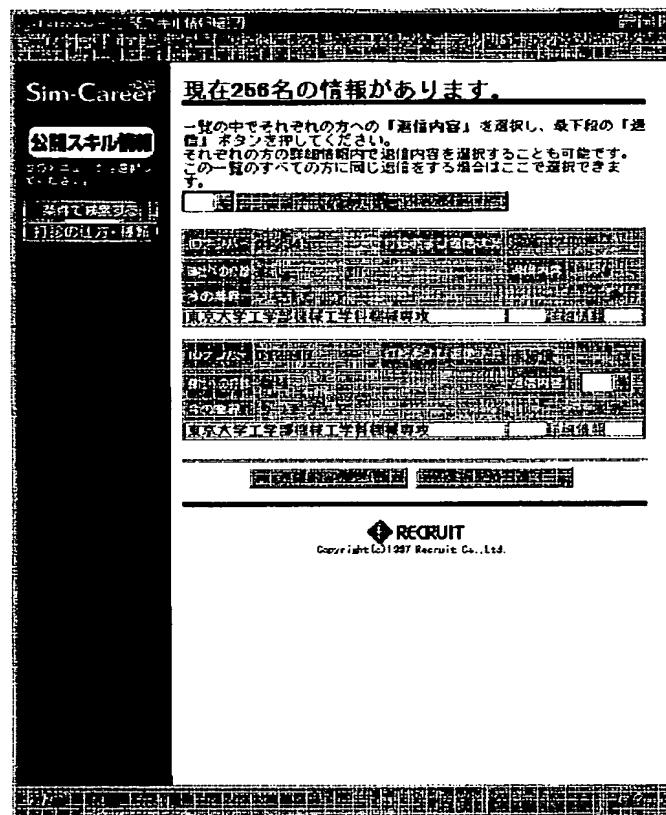
以上をよろしければOKを、訂正もしくはエントリーを取り止めたい方は訂正ボタンをクリックしてください。

OK 訂正

【図5】



【図6】



【図7】

Sim-Career

公開スキル情報

0123456さんの情報です。

元の一覧画面へはブラウザのOKボタン(戻るボタン)を押してください。

[就業基本情報]

年齢 28歳
最終出身校 東京大学 工学部 機械工学科 機械専攻
最新勤務実績 ソフトウェア
最新勤務実績 プログラム
最新勤務企業規模 1人~49人
年収 450万~499万

[業務経験関係(現在)]

基本システム系/通信・ネットワークシステム
研究
企画・設計・SI
プログラム
エンジニアリング系/ファームウェア
企画・設計・SI
プログラム

上記の業務経験年数
5年

[業務経験関係(一つ前)]

基本システム系/通信・ネットワークシステム
研究
企画・設計・SI
プログラム
エンジニアリング系/ファームウェア
企画・設計・SI
プログラム

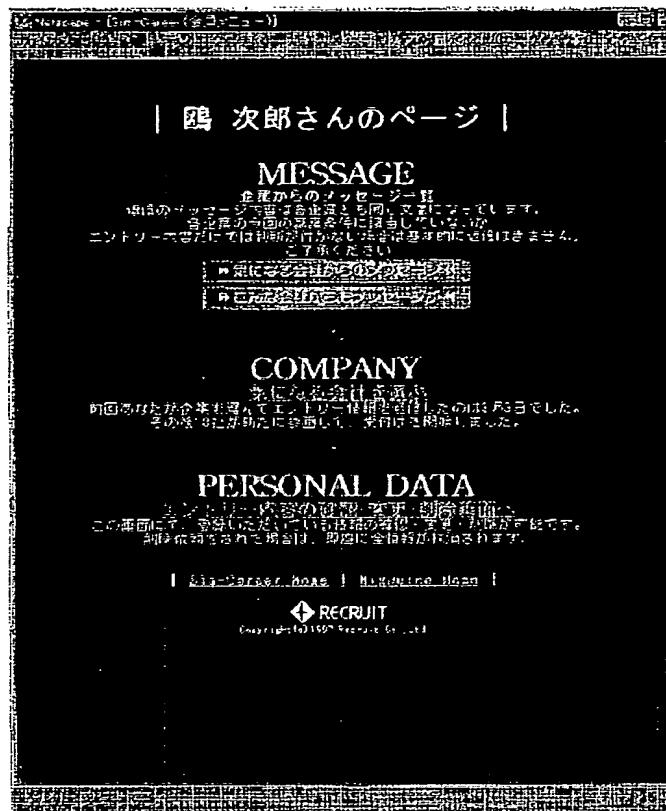
上記の業務経験年数
5年

[業務経験関係(二つ前)]

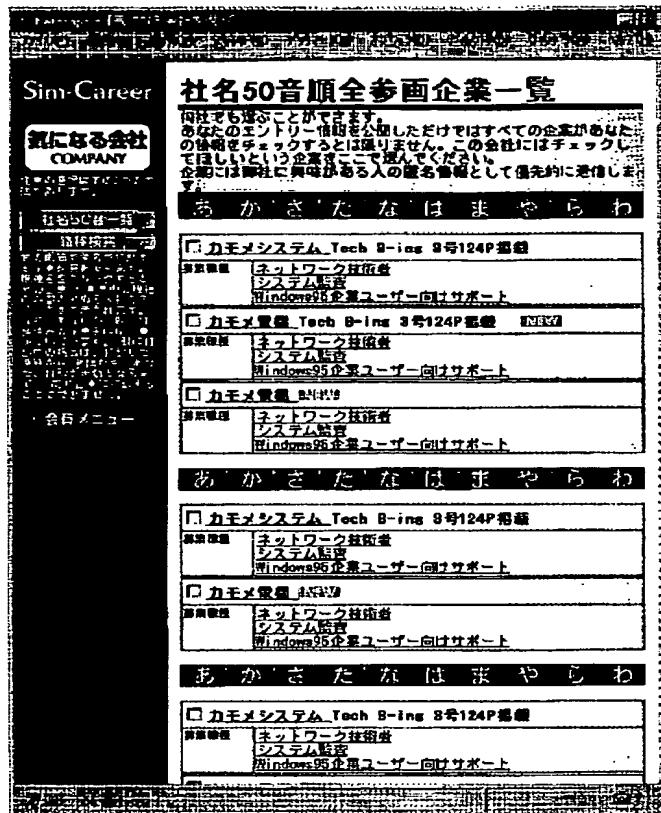
基本システム系/通信・ネットワークシステム
研究
企画・設計・SI
プログラム
エンジニアリング系/ファームウェア
企画・設計・SI
プログラム

上記の業務経験年数
5年

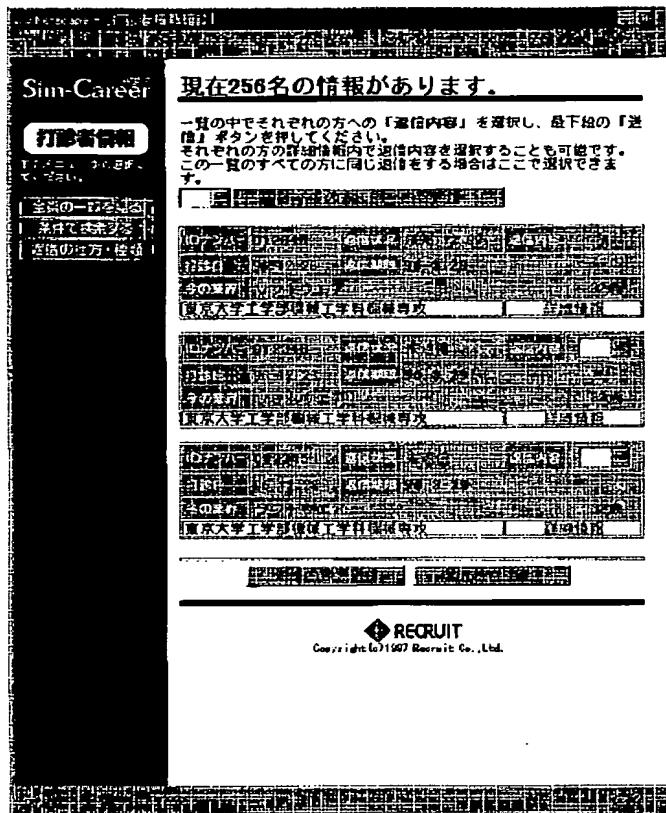
【图8】



【図9】



【四】



フロントページの続き

(72)発明者 庄村 美紀
東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ
クルート内
(72)発明者 三浦 健太郎
東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ
クルート内

(72) 発明者 熊澤 公平
東京都中央区銀座 8-4-17 株式会社リ
クルート内
(72) 発明者 葛島 敏彦
東京都中央区銀座 8-4-17 株式会社リ
クルート内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.